

図書館から秋のおすすめ本

この秋、図書館が皆さんにおすすめしたい本を3冊選びました。
図書館で読書の秋を楽しみませんか。

『ピーターのとおりみち』

バーバラ・クニー 絵 リー・キングマン 文
三木卓 訳 講談社



ピーターは、村から遠く離れた森の中で暮らしています。一緒に遊ぶ友達は、猫や犬やひつじたちでした。人間の友達がいしいピーターは、5歳にな

って村の学校へ行けるようになる日を楽しみにしていました。そしてとうとう5歳になったある朝、学校に向かって遠い道を1人で歩けます。

緑と茶色を主にしたやわらかい色調の絵は、さわやかな温かさに満ちています。

『ぼくは勉強ができない』

山田詠美 著 新潮社



17歳の時田秀美は勉強嫌いの高校生です。学校の成績は悪いけれど、女性にはもてる秀美。そんな秀美はサッカー好きで、人気者ではあるものの、学校に居心地の悪さを感じています。勉強以外に、生きていくために必要なエッセンスがちりばめられたこの小説は、読者を小気味良いリズムで導いてくれます。大人の

方にも青春時代を思いだしなが読んでいただきたい一冊です。

『ノラネコの研究』

伊澤雅子 文 平出衛 絵 福音館書店



野良猫の研究をするには、町内の猫たちの顔を覚え、名前を付けて、それぞれの特徴を書いた猫カードを作ります。それから、観察を開始します。この本では、ナオスケという野良猫の一日の行動を翌朝まで追っています。すると猫には、ちゃんと“猫社会のルール”があって、それを守って生活していることがわかりました。絵も地図も、こ密で楽しいうえ、野良猫の観察のコツも載っています。家の近くの猫の観察をしてもおもしろいですね。

平成29年度教育委員会表彰

教育委員会では、市の教育・文化発展に貢献された方を表彰しています。6月15日(木)に、中央公民館ホールで表彰式を行い、次の方々に感謝状を贈呈しました。

◆感謝状受賞者(敬称略)

氏名	職名等
熊井 久乃	現 小平第十五小学校長
来間 正明	前 花小金井南中学校長
岡庭 雅子	現 学園東小学校副校長
伊東 薫	前 文化財保護審議会委員
宮澤 千賀子	前 文化財保護審議会委員
依田 亮一	前 文化財保護審議会委員
高橋 久美子	前 図書館協議会委員
伊藤 順蔵	前 学校経営協議会委員
青木 房子	前 学校経営協議会委員
小山田 裕彦	前 学校経営協力者
西 洋子	前 学校経営協力者
木村 肇	前 学校経営協力者
福永 由里香	前 特別支援教育巡回相談員
小城 崇弘	前 学校医
平栗 俊介	前 学校医

平成29年度全国社会教育委員連合表彰受賞

長年、社会教育委員として活躍し、顕著な功績があった方として、「小平市社会教育委員の会議」の井戸雅子議長が、一般社団法人全国社会教育委員連合表彰を受賞されました。(地域学習支援課)

小平市立学校給食センターの整備に関する基本的な方向性(素案)にご意見をお寄せください

学校給食センターは建設以来35年が経過し、老朽化が進んでいて、建て替えが必要な状況です。

そのため、施設の更新やその後の運営についての基本的な考え方を示す小平市立学校給食センターの整備に関する基本的な方向性を検討してきましたが、このたび素案としてまとめました。

素案へのご意見を9月25日(月)までに、小平市ホームページの市民意見公募手続(パブリックコメント手続)からお寄せください(持参、送付、ファクシミリ、電子メール可)。

◆素案は学校給食センター、市政資料コーナー(市役所1階)、東部・西部出張所、小平市ホームページ、小平市立学校給食センターホームページでご覧になれます。

問合せ 学校給食センター(〒187-0031小平市小川東町5-17-10) ☎042(345)2821、FAX042(345)2721、✉ck0040@city.kodaira.lg.jp

小・中学生が広島平和記念式典に出席しました

8月5日(土)から6日(日)の1泊2日で小・中学生広島平和学習を行いました。市内の小学生4人・中学生6人が、広島を訪問して原爆ドームなどを見学したり、平和記念式典に出席することで、戦争の悲惨さ、平和の大切さについて考えました。

また、8月19日(土)には、被爆体験者に経験談を語っていただく講演会の中で、子どもたちが広島平和学習の報告を行いました。(地域学習支援課)



(地域学習支援課)

秋の公民館まつり

子どもから大人まで、どなたでも楽しめるメニューが盛りだくさんです。家族や友達と一緒に、お近くの公民館に足を運んでみませんか。

平成29年度 秋の公民館まつり日程表

開催日	会 場
10月7日(土)・8日(日)	小川西町公民館 ☎・FAX042(343)1415
10月28日(土)・29日(日)	上水南公民館 ☎・FAX042(325)4133
10月28日(土)・29日(日)	花小金井北公民館 ☎・FAX042(462)5790
11月11日(土)・12日(日)	小川公民館 ☎・FAX042(343)3620
11月18日(土)・19日(日)	津田公民館 ☎・FAX042(342)0863
11月24日(金)～26日(日)	鈴木公民館 ☎・FAX042(388)0050

中央公民館 ジュニア科学研究室

重力とは何か、なぜ物は下に落ちるのか、ビタゴラ装置を作りながら、科学の楽しさを体験しましょう。

ところ 小平市中央公民館

と き 11月から2月までの間で5日間

対 象 小学1年生から3年生

※申込みに関する詳細は、今後市報などでお知らせします。

問合せ 小平市中央公民館☎042(341)0861



(海洋スポーツ体験の様子)



(化石発掘体験の様子)

小平市のこどもたち20人が北海道小平町を訪問しました

今年で39回を迎える北海道小平町との少年少女文化交流事業が8月7日(月)から11日(金・祝)まで行われ、小平市の子どもたち20人が北海道小平町を訪問し、小平町の子どもたち20人と交流しました。

子どもたちは、化石発掘体験や国指定重要文化財である旧花田家番屋の見学、海洋スポーツ体験などを通して、たくさん思い出を作りました。

また、9日(水)まで、教育委員会から、古川教育長、森井教育長職務代理者、三町委員も同行しました。



(地域学習支援課)

新潟の海を楽しんできました

～小平市・東村山市・柏崎市交流事業 なぎさ体験塾～



(地域学習支援課)

小平市と東村山市の小学5・6年生53人が、8月20日(日)から8月23日(水)まで新潟県柏崎市を訪問し、地元の小学5・6年生17人と一緒に海洋スポーツなどさまざまな海の体験を楽しんできました。

平成29年度 就学援助のご案内

経済的な理由で学校給食費や学用品費などの支払いにお困りの方に、就学援助を行っています。

対象	市内在住の、公立小・中学校に在学する子どもの保護者で、次のいずれかに該当する方
援助の内容	▽世帯の所得が基準額以下である ▽生活保護を受けている(生活保護費で支給されない部分のみの援助) ▽特別な事情があり、教育費で困っている ▽児童扶養手当の支給を受けている
必要書類	▽学用品費・通学用品費 ▽学校給食費 ▽校外活動費(遠足・移動教室など) ▽修学旅行費 ▽新入児童生徒学用品費 ▽卒業アルバム・文集代
申請先	▽体育実技用具費(柔道着など) ▽医療費(学校保健安全法第二十四条に基づく疾病の治療のみ) ▽通学費(通学距離が長距離の場合のみ)
申込み	必要書類 申請書(市立小・中学校または学務課で配布)所得を証明する書類 申請 在籍する小平市の学校へ 市外の公立小・中学校に在籍している場合は、学務課へ 今年度の締め切り 平成30年2月28日(水)まで ※今年度すでに申請している方は再度申請する必要はありません。来春の年度切り替えの際に申請してください。 ※3月以降の申請は平成30年4月からの援助となります。 ※申請は随時受け付けていますが、申請のあった月からの援助となります。 詳しくは小平市ホームページをご覧ください。問合せ先へ。

問合せ 学務課☎042(346)9570

東部地区の児童・生徒の増加に伴う対応に関する説明会の実施について

平成29年7月10日(月)～13日(木)に東部地区の5つの小学校で、これまでの経過と今後の対応について説明会を開催しました。

▼説明会の内容

- ・小平第六中学校が指定学校で、花小金井南中学校が選択可能学校である調整区域の解除(花小金井二丁目、三丁目)を行う。
- ・小平第十一小学校が指定学校で、小平第五小学校が選択可能学校である調整区域の解除(花小金井二丁目)を行う。

▼時期及び対象者

- 平成34年度以降に小・中学校に入学する児童・生徒
- ・小学校…平成27年4月2日以降に生まれた未就学児童
- ・中学校…平成21年4月2日以降に生まれた児童

▼その他

- ・東部地区の人口については、社会的な人口の増減や大規模開発の住宅への入居状況などにより、今後、大きく変動する可能性があることから、最新の動向を把握しながら、必要に応じて方向性を修正します。
- ※通学区域の変更や調整区域の解除などを行う場合があります。

詳しくは小平市ホームページをご覧ください。

学校運営協議会規則の一部改正について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正等が平成29年4月より施行されました。このことを受け、教育委員会7月定例会において、学校運営協議会規則の一部を改正いたしました。

▼主な改正点

- ・学校運営協議会の設置が努力義務化されたこと
- ・小・中学校が相互に密接に連携し、その所在する地域の特色を生かした教育活動を行う場合等において、二以上の学校の運営に関し一の協議会を置くことができること
- ・学校運営協議会委員に地域学校協働活動推進員等を加えること

この規則改正により、学校の指導・運営体制を充実させ、地域との連携や協働を含めた学校運営の改善を図り、複雑化する諸課題に対応する学校の機能強化を推進していきます。

問合せ 指導課☎042(346)9572

平成30年度から使用する道徳の小学校教科用図書が決まりました

8月17日(木)に小平市立小学校で、平成30年度から平成31年度まで使用する道徳の教科書を教育委員会定例会で採択しました。

採択しました教科書は、下表のとおりですが、ここでは採択に至るまでの概要をお知らせします。(指導課)



《審議委員会からの報告》
左から順に教育委員会教育長、審議委員会委員長、審議委員会副委員長

小学校教科書(道徳)採択結果

種 目	発 行 者
道 徳	光村図書出版

平成29年度 小・中学校音楽鑑賞教室

音楽鑑賞教室の感想

小平第四小学校6年 神山 一真

音楽鑑賞教室の前日、音楽の授業でどんな曲をきくのか知らされました。全部で6曲もの曲をきくと聞いて、最初は、何でオーケストラなんぞきくんだろう、音楽をきいていけるだけの何に楽しいんだろう、と思いがながら、先生の話を聞いていました。近くの席に音楽好きの友達がいたので、「オーケストラの何がいいの?」と聞くと、「金管楽器や木管楽器、弦楽器、打楽器のそれぞれの音が交わって、すてきな音になるところ」と答えたので、ぼくはその言葉を信じてそこに注目し、5月12日の音楽鑑賞教室の準備を進めました。そして12日、音楽鑑賞教室の当日になりました。昨日、友達に言われたことが本当にきけるのかが楽しみで、行く前からドキドキでした。昨日の言っていたことが信じられなくなってしまいました。そして、バスがルネこだ

音楽鑑賞教室の感想

上水中学校2年 林 真理奈

私にとっての吹奏楽のイメージは、「オーケストラよりも迫力がなく、少人数で演奏するもの」という感じでした。しかし、事前学習でそれが翻され、「オーケストラと同じくらい迫力がある」ことが分かってから、音楽鑑賞教室が楽しみにになりました。

ホールに着いて私が一番初めに見たものは、ステージ上の演奏者が座る椅子でしたが、その多さに驚きました。まさかこんな大人数で演奏するものなどは思わなかったからです。そしてもう一つ目に入ったのはハーブでした。ハーブの存在自体は知っていましたが、実際に音色を聞いたことはなく、演奏が待ちきれなくなりました。

演奏が始まると、演奏している楽器一つ一つの音色が響いていて圧倒されました。主に金管楽器・木管楽器の中で

高音が出るフルート・トランペット・クラリネットがメロディ、低音楽器がベースを演奏していました。そこに効果音のような打楽器の音が足され、迫力のある演奏となっていました。ずっと気になっていたハーブは、うっとりするような音色で子守歌のようでした。これら全ての楽器の音が合わさって一つの曲になっているのが不思議で曲に引き込まれました。

また、指揮者の動きにも注目してみたところ、手や腕だけでなく、体全体で表現していることが分かりました。指揮の大きさに変化をつけるだけでなく、時にはジャンプしたりかがみ込んだりしていました。演奏者をまとめるリーダーは、いろいろな工夫をしてわかりやすい指揮をし、観客を楽しませてくれるのだと感じました。

今回の鑑賞教室はとても楽しく、あっという間に終演に終わりました。また機会があれば、自分から演奏会に行きたいと思いました。

こだいらの小・中連携教育

市内の全ての公立小・中学校では、五つの「共通プログラム」に取り組んでいます。具体的な内容は、学校によって様々ですが、今回はその一例を紹介します。



(地域学習支援課)

市立中学校に入学する予定の児童に「春休みの生活と学習」という冊子を配布します。これは、春休み中に、中学校の学習を始めるに当たって必ず身に付けておきたいことを復習することで、4月の学習をスムーズにスタートできるようにするためのものです。

■特別支援教育の充実
全ての児童・生徒に分かる授業づくり、安心できる学級づくりを目指し、学習環境を工夫しています。例えば、黒板に授業のめあてを示したり、ミニホワイトボードなどを使って授業の流れを示すことで、何をどう学ぶかの見通しをもつことができます。

■キャリア教育の推進
児童・生徒が社会人として自立して生きる力を身に付けるために、学校では異学年の児童による交流活動、中学校では、幼児とのふれあい体験や職場体験など、人との関わりの中で「自尊感情」を高くします。

■体力向上に向けて
今年度から、授業や部活動も含め、朝の時間や休み時間などに、体を動かす取り組みを取り組んでいます。これは、児童と生徒会が一緒に取り組む活動を行っています。また、代表作品を掲載したポスターを、学校、図書館、児童館などに展示しています。

■学力向上に向けて
市立中学校に入学する予定の児童に「春休みの生活と学習」という冊子を配布します。これは、春休み中に、中学校の学習を始めるに当たって必ず身に付けておきたいことを復習することで、4月の学習をスムーズにスタートできるようにするためのものです。